

ガソリン上昇180円台に

補助縮小 15年ぶり高値

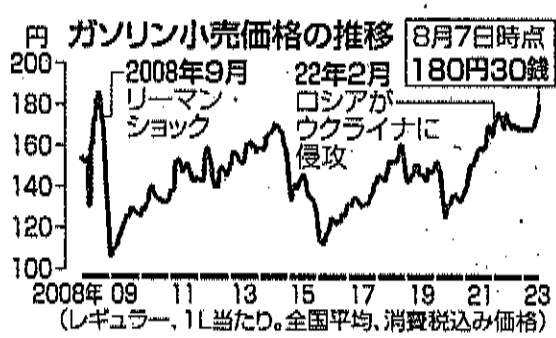
福井は183円

経済産業省が9日発表した7日時点のレギュラーガソリン1リットル当たりの全国平均小売価格は、前週調査から3円60銭高い180円30銭だった。値上がりは12週連続で、2008年8月以来約15年ぶりの高値。原油相場上昇や政府が価格抑制のための補助を段階的に縮小していることが響いた。

比較可能な1990年以降の最高値である08年8月の185円10銭に迫る勢いで、調査した石油情報センターの担当者は原油相場上昇の影響で「来週は小幅に値上がりする見通しだ」との見解を示した。

経産省は補助金により、8月7日時点のレギュラーガソリン価格に対して6円ちよほどの抑制効果があったと説明している。8月10日からの補助金額は1リットルあたり12円ちよほどになる。補助は6月に降、段階的

に縮小して9月末で終了する予定。補助が予定通り終了すれば家計負担が一段と増える見通しだ。



ハイオクガソリンは全国平均で3円70銭高い191円20銭だった。軽油は3円50銭高い159円80銭。灯油は18円(一般的なタンク1個分)当たり52円値上がりし、2148円だった。都道府県別のレギュラーガソリン価格は全都道府県で値上がりした。最高は長野県の189円90銭で、山形県の186円70銭が続いた。岩手県と兵庫県がともに175円30銭で最も安かった。福井県は3円80銭高の183円60銭だった。